



聞こえる。鳥のさえずり、水の流れ、
新緑がやわらかにこすれ合う音。
そう、春の声。もうすぐそこに、近づいている。
毎年、この頃になると思い出す。
まだ小さかった頃、雪の溶けてきた庭先で、
もうすぐ春がやってくるのと訊ねたわたしに
母は、春がやってくるのではなくて、
自分たちが春に会いに行くのだと言った。
冬の間、沢山の準備をして、
こちらから春に向かって進んでゆくのだと。
あの頃はまだよくわからなかったけれど、
今思い返すと、それってちょっと素敵だと思う。
春だけではない。夏も、秋も、冬も、みんな。
きっとこの星に生きるもののすべてが、
一年を旅して歩いているのだ。
互いに支えあい、持ちつ持たれつ、生きている。
春先の庭で遊ぶこどもたち、
日向に寝そべる猫、
この桜の木だって、共に旅する仲間。
一人じゃないと感じる。
どんなことがあっても、大丈夫。
だって、わたしだけではないのだから。
もし、あなたが少しの希望も持たなくなって、
何もかも嫌になったとしたら。
そうしたら、少し立ち止まって
思い出してみしてほしい。
ほら、沢山の仲間が励ます声が、聞こえる。
さあ、あなたも一緒に、
春を、迎えにゆこう。

春を、迎えにゆこう。

